

○ 設問A2_02: ご回答者様の所属部署ではリスクアセスメントツールを、業務フローのどのタイミングで利用していますか？利用しているものをすべて選択してください。(A2_01.「はい」のみ)

- ☐ 緊急出動(直ちに行う安全確認)の要否判断
- ☐ 一時保護の要否判断
- ☐ 事案送致の要否判断
- ☐ 一時保護解除時(家庭復帰)の適否判断
- ☐ その他

○ 設問A2_03: ご回答者様の所属部署で利用しているリスクアセスメントツールは以下のどれですか？利用しているものをすべて選択してください。(A2_01.「はい」のみ)

- ☐ 「一時保護決定に向けてのアセスメントシート」(厚労省)
- ☐ 「児童虐待に係る児童相談所と市町村の共通リスクアセスメントツール」(厚労省)
- ☐ 独自に開発したアセスメントシート
- ☐ その他

○ 設問A2_04: ご回答者様の所属部署では、リスクアセスメントシートの記入方法や運用についてのルールやガイドラインを設定していますか？(A2_01.「はい」のみ)

- ☐ すべてのリスクアセスメントシートに対して設定
- ☐ 一部のリスクアセスメントシートに対して設定
- ☐ 設定していない

○ 設問A2_05: ご回答者様の所属部署では、リスクアセスメントのデータを集計・分析、活用していますか？(A2_01.「はい」のみ)

(例: データから得た知見を支援に活用、予算要求の根拠にする)

- ☐ はい ☐ いいえ

○ 設問A2_06: ご回答者様の所属部署におけるリスクアセスメントシートの利用実態について、最も近いものを次の選択肢から選んでください。(A2_01.「はい」のみ)

- ☐ 厳密に運用し、ルールにあてはまらないものがある場合には、柔軟に対応している
- ☐ おおむねルールに沿った意思決定がなされている
- ☐ あくまでも「判断の参考」程度に利用している
- ☐ ほとんど運用されていない

○ 設問A2_07: 現在利用しているリスクアセスメントシートについて、満足・使いやすい点がありますか？(自由記述)(A2_01.「はい」のみ)

◆満足している点 (例: 新人職員でも容易に使える)

◆使いやすい点 (例: 必要最小限の項目数である)

○ 設問A2_08:現在利用しているリスクアセスメントシートについて、課題や不満、不足している点がありますか?(自由記述)(A2_01.「はい」のみ)

◆課題を感じている点(例:類似ケースで、職員によって評価が異なる)

◆不満を感じている点(例:項目数が多すぎる)

◆不足を感じている点(例:こういう評価箇所が足りない)

○ 設問A2_09:ご回答者様の所属部署にて、リスクアセスメントシートを利用していない(できない)理由がある場合、該当する選択肢をすべて選んでください。
(A2_01.「いいえ」のみ)

- ☐ 使う必要がない
☐ 良い(適切な)リスクアセスメントシートが存在しない
☐ 入力する暇が無い
☐ 以前から利用していない
☐ システムと連携していないから
☐ その他

※ご回答者様の所属部署もしくはこれをご回答頂いている回答者様が、リスクアセスメントシート等の、各種関連アセスメントツールについてどのように感じているのか、考えているのかについてお尋ねいたします。

○ 設問A2_10:「児童虐待に係る児童相談所と市町村の共通リスクアセスメントツール」(厚労省)に対して、どのように感じていますか?
(ご回答者様の機関が利用か未利用かに応じて次の設問にご回答ください)

◆利用している方にお尋ねいたします。

◆本ツールを活用している・しやすい点についてご回答ください

◆本ツールの活用しづらい・使いにくい点についてご回答ください

◆本ツールの改訂を検討するに際、または、より活用しやすくするために何かご意見等ございましたらご自由にお書きください。

◆利用していない方にお尋ねいたします。

◆本ツールを利用/活用していない・できない点についてご回答ください(すべて選択)
※選択肢に適切なものがない場合及び他に理由がある場合、自由記述欄にご回答ください

- ☐ 既存のアセスメントシートを継続して使用しているため
- ☐ アセスメントシートを使用していない
- ☐ 同ツールについて周知されておらず知らない

◆本ツールを活用していない・できない点についてご回答ください

○ 設問A2_11: リスクアセスメントを行う(リスクアセスメントシートを使用する)上で、特に重要視するものを全てを選択し、そのうち最も重要視するものを選択してください。

◆特に重要視するもの(全て選択)

- ☐ 精度(児童虐待を予測・防止できるか)
- ☐ スピード(迅速に判断出来るか)
- ☐ 感覚(経験や直感にどれだけ合うか)
- ☐ コスト(業務量と導入による経済的部分)
- ☐ 理由付け(「判断の際にリスクアセスメントシートを利用した」という実績)
- ☐ その他

◆最も重要視するもの(一つ選択)

- ☐ 精度(児童虐待を予測・防止できるか)
- ☐ スピード(迅速に判断出来るか)
- ☐ 感覚(経験や直感にどれだけ合うか)
- ☐ コスト(業務量と導入による経済的部分)
- ☐ 理由付け(「判断の際にリスクアセスメントシートを利用した」という実績)
- ☐ その他 (上で記述したもの)

○ 設問A2_12: リスクアセスメントシートに関して、感じるところ、思うところ、意見したいところがあれば、何でも構いませんので自由に書いてください。(自由記述)

パート1 組織調査の設問は以上です。
パート2、パート3の事例調査へのご協力をお願いいたします。

パート2: 項目評定用仮想事例調査

【調査概要と回答の留意事項】

・本調査は、児童虐待対応のために使用可能な全国共通リスクアセスメントツール整備のため、昨年度作成された全国共通リスクアセスメントツールから死亡事例や致死的行为を予測可能な特に重要な項目の選抜を行うことを目的とした全国調査です。

・本パートは、関係組織間のリスクアセスメント評価の一致性を検討することを目的としています。本調査回答が、回答組織および回答者の評価に繋がることはありませんので、安心してご回答ください。

・本パートは、3つの大問(項目評定用仮想事例)で構成されていて、各大問が独立構造になっています。各大問ごとに児童虐待に関する項目評定用仮想事例が記載されていますので、この事例を読んだ上で、それに続くリスクアセスメント項目にご回答ください。

・1組織あたり3つの大問(項目評定用仮想事例)回答を募集しますが、3事例に満たなくとも構いません(理由は一切問いません、不利益等もありません)。

・パート2の設問には、実際にリスクアセスメントを担当されている職員様、またはそれを指導・監督されていた職員様等が回答を作成してください。ただし、回答負担を鑑み、全項目評定用仮想事例を1担当者で回答する必要はありません。担当者が項目評定用仮想事例ごとに異なる場合は、それぞれの担当者が各事例について回答し、同一回答者ごとにWebフォームにご入力ください。

・回答の際は、なるべく実際のリスクアセスメントと同様の状況になるようにお答えください(例: 実際のリスクアセスメントの際に職員1名で評価するのであれば、本項目も同様に職員1名で評価を行う)。

・仮想事例から把握できる情報に基づき、推察や経験則での判断は避け、担当者視点からリスク評価を行ってください。判断できない場合、その他回答が困難な場合などは、全て未入力で構いません。

・なお、本仮想事例は、リスク項目評定用に作成された事例であり、一部実際の事例状況と乖離している部分があるかもしれませんが、その点ご了承ください。

○ 設問B1: 次の項目評定用仮想事例をお読み頂いたのち、後続のリスクアセスメント項目に(該当/非該当/不明・情報未取得)のいずれかでご回答ください。項目評定用仮想事例は全3件、各事例においてリスク項目は40項目程度あります。

通告の経緯・現在の状況

●被害児童：通告時5歳男児

●保育園から10月5日15時に貴組織に通告あり。以下概要。

●コロナ禍でつけていたマスクを外したら、左頬に10cm大の青い痣があった。どうしたのか尋ねると、本人は「ママに叩かれた」と言った。おでこも痛いというので確認すると、髪の毛生え際付近にたんこぶが見られた。

●その他にも背中や太もも内側にも保育士の直接目視で傷と古い打撲痕を認め、背中と太ももの傷について尋ねると「パパ（内縁男性）が叩いた」と本児が言った。以上の状況から通告となった。

●貴組織が保育園を訪問し、本児の傷を確認、本児にどうしたのか尋ねたが何も話さなかった。その他の会話には応答するが、キズ・アザについて尋ねると黙ってしまう。

●貴組織の判断で、傷アザ理由についてお迎えにきた母親に尋ねると、母は「どこかで本人が勝手にぶつけてできた傷でしょ。誰も叩いたりしていません、そもそもこういう傷があればろくに事情も確かめずに虐待を疑うんですか。隣近所も私の家のことをあれこれ言うんですけど、一体私が何をしたというのよ。誰も私のことを分かってくれる人はいない。そういう風に見られること自体、納得いかない！ずっと頑張ってきたのにひどい」と強く反発。泣きながら興奮して、「そんな風に見られている園にはもうわが子は通わせられない」と言い出す。園長が割って入り母となだめて、「お母さんが頑張ってきたことは良く知っている。何か力になれることが無いか考えてこの話し合いをしている」と言葉をかける中で母は一応落ち着いて、「ご心配をかけました。でも私もギリギリなんです」と言う。

家族構成

●本児（通告時5歳男児）

○3歳の時、家族の話を聞いていないことが多く、耳鼻科に受診したところ難聴の診断がある。普段は、ぼーっとしており「疲れた、何もしたくない」と言うが、時々興奮して、お友達を叩いたり、先生が注意すると物に当たったりする行動がみられ、親にも反抗的な態度をとることがあるらしい。

○入園当初から他児への粗暴な行為が目立っていた。

○養育の絆と愛着の役割逆転からか、母親には「ママ大丈夫？」とか「ママ大好き」と母を励まそうとするような言動もあるらしい。母親が本児にパパと呼ばせている内縁男性について本児から話すことは少なく、パパについての話題を向けると「パパ怖い」と言うことがあった。

●母親（29歳）

○知的に若干低く、友人関係がとても狭い。信頼関係が出来た相手には会話をするが、そうでない相手にはそっけない。現時点では貴組織には拒否的なため、担任の保育士からの情報が重要。

○本児が2歳の頃に離婚（DVらしいが詳細不明）して以来、母子家庭である。

○母親は園のお母さん友達と話す場面はほとんど見られず、園で見かける母親は本児に対してもそっけなく、言葉数が少ない。

○母親と信頼関係のある担任保育士との最近の個人面談で「うちの子、なんか育てにくくて、昔から手がでちゃうときがある」「もう、子育て無理かも。これ以上一人でやってたら、あの子に何をするかわからない・・・」と話してくる。

○母親は非正規職員で、今年度末で契約が切れるようである。生活・経済的にも保育要件の維持のためにも次の仕事を見つけなければというストレスがあるように感じられる。

●内縁男性（31歳）

○最近、内縁男性と思われる男性が本児宅へ出入りするのが目撃されている。

○担任保育士からの貴組織への情報で、男性から母への暴力があるようで、母親の首を絞めたり、「殺すぞ」と脅すこともあるらしい。

●父親（32歳）

○本児が2歳の時に離婚。

健診・関係機関情報・住居の変更など

（B市居住時は予防接種や1歳半健診は受診：1歳半健診で難聴の可能性を指摘あり）

本児2歳時：両親協議離婚（原因：DV?）

本児3歳時：3歳児健診未受診（B市）未受診に対して保健センターからの電話で、母親から「引越前で忙しいので行けない」と連絡あり

本児3歳時：A市に転入

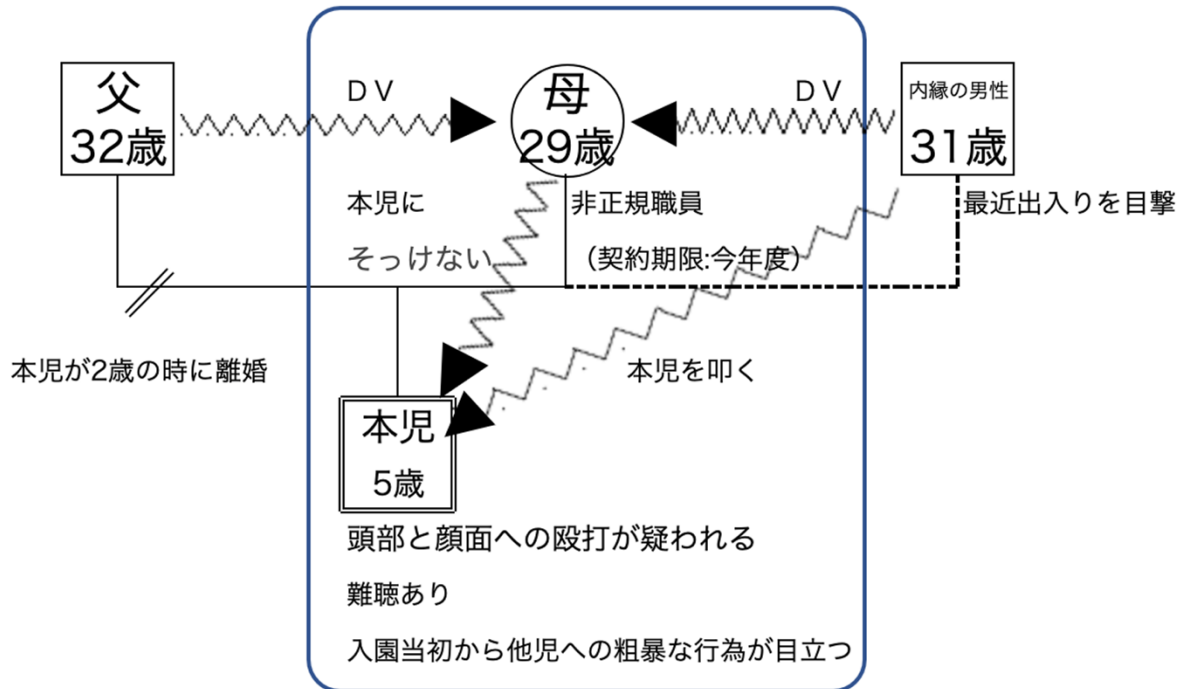
本児：A市より3歳児健診受診推奨をしたところ、半年遅れて受診。

状況を重く見た保健センターが保育園申請を勧める。

本児4歳児：保育園入所

本児5歳時：当該通告

〈家族図〉



回答者(あなた)自身についてお答えください。

※本調査で収集された回答によって、あなたが評価されるもしくは不利益を被ることは一切ありませんのでご安心ください。

○ 設問B1_1:あなたはこれまでにどれぐらいの期間、児童虐待現場に携わってききましたか?累計年数をお答えください。

(不明な場合、およその数値でも構いません)

◆ 累計年数 年 ☒ 携わっていない

※累計年数について

- ・（新卒採用の方）0年とお答えください
- ・（児童虐待現場に携わっていない）未回答もしくは携わっていないをお答えください
- ・（別の部署在籍した（中抜け）期間がある場合）児童虐待現場に3年携わったのち、別の部署で2年働いたのち、再び児童虐待現場に戻って5年経過した → 8年とお答えください

上記回答後、
リスクアセスメント項目表を用いて、
本事例のリスク評価をお願いいたします。

○ 設問B2: 次の項目評定用仮想事例をお読み頂いたのち、後続のリスクアセスメント項目に(該当/非該当/不明・情報未取得)のいずれかでご回答ください。項目評定用仮想事例は全3件、各事例においてリスク項目は40項目程度あります。

通告の経緯・現在の状況

- 被害児童：通告時9歳女児（小学校3年生）
- 小学校から7月14日13時に貴組織に通告あり。以下概要。
- 保健室へ養護教諭と話しに来た本児が、お腹や背中など見えにくい部分に新旧の打ち身・あざを養護教諭に見せ、「お父さんから叩かれた。お父さんから包丁をつきつけられたこともある。家に帰るのが怖い」という話があった。
- 子ども同士のうわさ話のもめ事が多く、学校から連絡すると、母は「学校で起きた子どものケンカなんだから学校でなんとかしてもらえないのか」とのこと。
- 本児からの情報で「母は、おばあちゃん（姑）がたまに来ることがストレスで、父とも小さな衝突が多い」という。
- 同日既に学校が母を呼び、母に本児のアザのことを尋ねたら、「この子が悪いから叩かれるのは理由があり仕方ない」、「夫はキレると何をするか分からず、私から何か言ってどうにかなることではない」と話した。
- 貴組織が、母に家庭での子どもの安全・安心についての心配があることを伝えるも、母は学校が福祉機関を呼んだこと自体に強く反発し、「夫の考えを聞くまでは、これ以上話すことは無い、相談する気も無い」と拒否的な構えを示した。
- 本児によると、母は弟には優しいが、本児には厳しく「勉強しないなら、ご飯なし。用もないのに話しかけるな」と母親に無視されることがある。本児が泣いてもまったく無視されるとのこと。

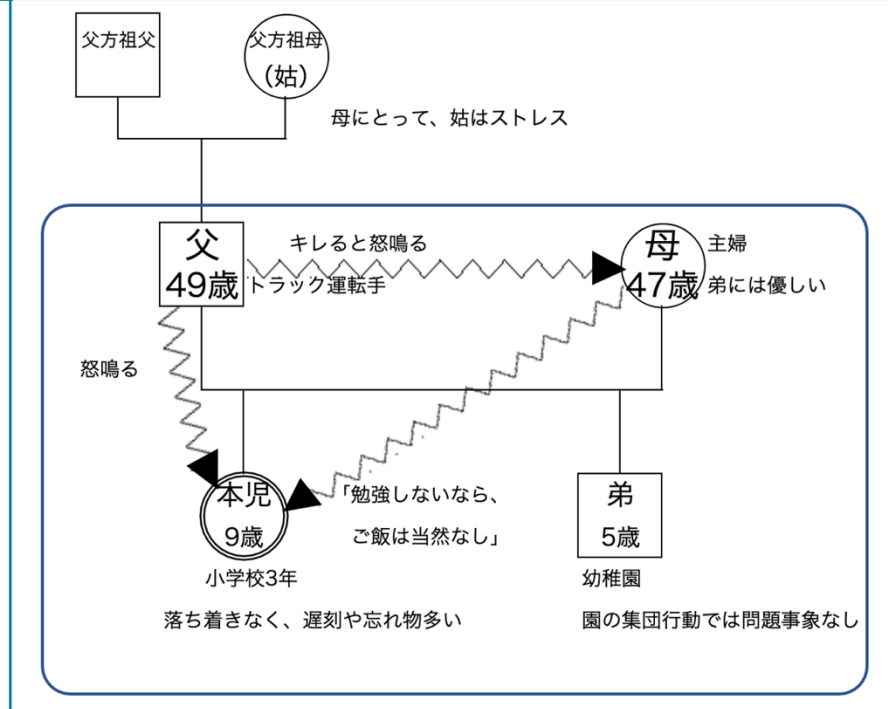
家族構成

- 本児（9歳女児：小学校3年生）
 - 学校では落ち着き無く、友達との噂話に関するもめ事も多い。
 - 成績は中程度。
 - 服装は清潔である。遅刻や忘れ物が多い。
- 母（47歳）
 - 初産が高齢出産で38歳の時に本児出産。出産前はキャリアウーマンだったらしいが、出産後は主婦。
 - 民生委員からの情報で、母親は飲酒癖に問題があり、近隣の居酒屋に本児と弟を深夜まで連れ回しているところを目撃されたことがあるらしい。
 - 本児の話では母は弟には優しいが、本児には冷たく、無視することが多い。
- 父（49歳）
 - 長距離トラックの運転手。
 - 子育てにはあまり協力的でない。在宅時は1人で飲みに出歩き、キレると怒鳴る。包丁を持ち出し、母と本児を脅すことがあった。
- 弟（5歳）
 - 4歳から幼稚園に通っている。運動会などには母のみ参加している。園の集団生活では問題事象などは無い。

健診・関係機関情報・住居の変更など

- 本児、弟ともに、健診時は問題なし。

<家族図>



回答者(あなた)自身についてお答えください。

※本調査で収集された回答によって、あなたが評価されるもしくは不利益を被ることは一切ありませんのでご安心ください。

☒ 前の模擬事例(B1)の回答者と同じである(該当の場合、累計年数の設問(B2_1)は飛ばしてください)

○ 設問B2_1: あなたはこれまでにどれぐらいの期間、児童虐待現場に携わってきましたか? 累計年数をお答えください。

(不明な場合、およその数値でも構いません)

◆ 累計年数 年 ☐ 携わっていない

※累計年数について

- ・ (新卒採用の方) 0年とお答えください
- ・ (児童虐待現場に携わっていない) 未回答もしくは携わっていないをお答えください
- ・ (別の部署在籍した(中抜け)期間がある場合) 児童虐待現場に3年携わったのち、別の部署で2年働いたのち、再び児童虐待現場に戻って5年経過した → 8年とお答えください

上記回答後、
リスクアセスメント項目表を用いて、
本事例のリスク評価をお願いいたします。

○ 設問B3: 次の項目評定用仮想事例をお読み頂いたのち、後続のリスクアセスメント項目に(該当/非該当/不明・情報未取得)のいずれかでご回答ください。項目評定用仮想事例は全3件、各事例においてリスク項目は40項目程度あります。

通告の経緯・現在の状況

●被害児童：通告時7ヶ月女児

●総合病院救急から12月28日16時に貴組織に通告あり。以下概要。

●左脛骨骨折にて入院(12月25日)。入院時、咳と発熱があったため、医師が別の骨折も疑い、胸部レントゲン撮影をしたところ、左鎖骨にひびがあり、右第6肋骨と第7肋骨前外側部に治癒した陈旧性肋骨骨折が認められた。右耳と両脇周辺にも外傷痕がある。

●両親は「足が腫れてきたので受診した。胸の骨折については思い当たる節が無い。」と言っているが、この年齢では特殊な場合でなければ起こらない骨折。

●病棟看護師の情報では、病棟で見る限り本児・母親に親子関係の異常は感じられないが、時折、姉が母親に話しかけたことを母親が無視したり、「べたべたくっつかないで」と姉の身体的親密性を拒絶する等、行動を制止することがあったようだ。

●貴組織は、主治医の要請を受けて病院で医師からの病状説明を父母と一緒に聴き、その後父母に経緯を確認。母親は「脚の骨折については、5歳の姉がソファの上で本児を抱き上げて立ち上がったところ、足を踏み外し、2人とも床に倒れこんだ。姉はしりもちをついた形になったが本児は前に転がった。激しく泣いて、まもなく脛が腫れてきたので受診した。肋骨の骨折については、具体的に思い当たる出来事が無い。たまに姉が本児を強く押すことはあった」と話している。医師は、「その程度では脛骨の骨折は起こらない」と話す。貴組織の判断で法医へのセカンドオピニオンを検討中。

家族構成

●本児(通告時7ヶ月女児)

○予期せぬ妊娠。帝王切開で出産。

○身長体重は、通常の発達曲線より少し下回る。

●母(27歳)

○主婦、厳格なベジタリアン。

○子どもの服装や子育てには無頓着。

○知的な低さを少し感じる。

●父(33歳)

○保険業サラリーマン。

○子どもを寝かしつけるコツとしてネットに掲載されていた情報を信じ込んだ母親が、本児の顔にガーゼを掛ける時が何度かあり、それは危険だと母親を叱ったことがある。

○育児には協力的。

●姉(5歳)

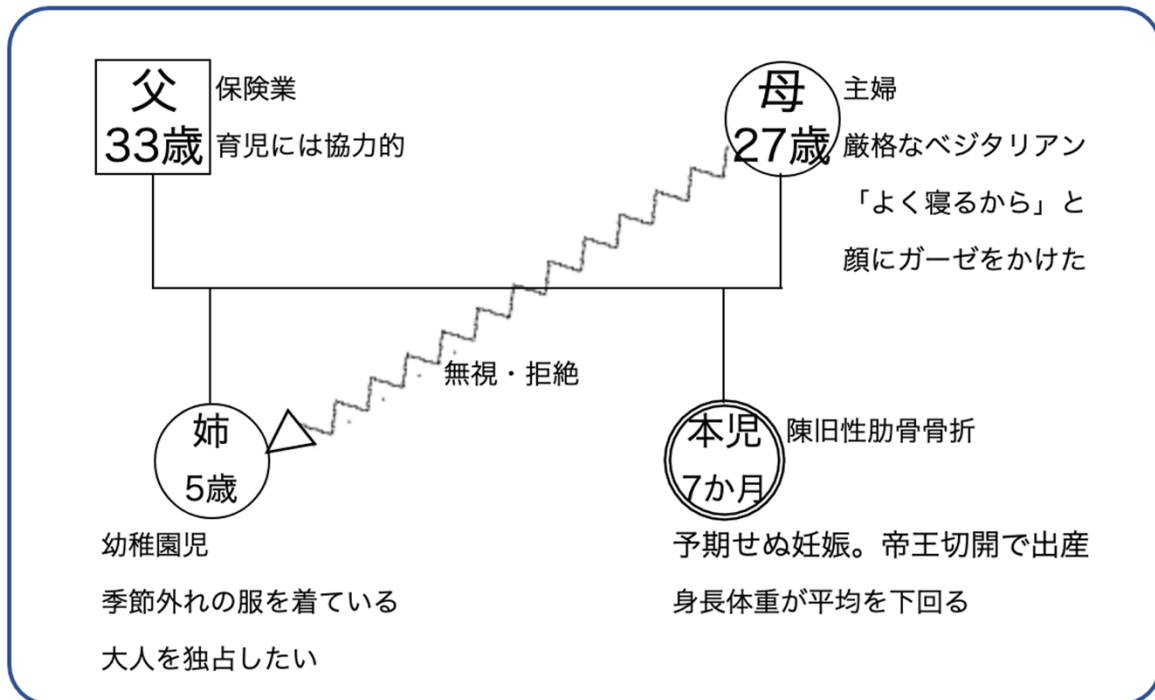
○幼稚園に通園中。季節外れの服を着ていることがある。

○園では大人を独占しようとすることがある。

健診・関係機関情報・住居の変更など

これまで市区町村や保健センターなどの関わりも特にない。

<家族図>



回答者(あなた)自身についてお答えください。

※本調査で収集された回答によって、あなたが評価されるもしくは不利益を被ることは一切ありませんのでご安心ください。

☐ 前の模擬事例(B2)の回答者と同一である(該当の場合、累計年数の設問(B3_1)は飛ばしてください)

☐ 設問B3_1: あなたはこれまでにどれぐらいの期間、児童虐待現場に携わってきましたか? 累計年数をお答えください。

(不明な場合、およその数値でも構いません)

◆ 累計年数 年 ☐ 携わっていない

※累計年数について

- ・ (新卒採用の方) 0年とお答えください
- ・ (児童虐待現場に携わっていない) 未回答もしくは携わっていないをお答えください
- ・ (別の部署在籍した(中抜け)期間がある場合) 児童虐待現場に3年携わったのち、別の部署で2年働いたのち、再び児童虐待現場に戻って5年経過した → 8年とお答えください

上記回答後、
リスクアセスメント項目表を用いて、
本事例のリスク評価をお願いいたします。

パート3：事例調査

【調査概要と回答の留意事項】

・本調査は、児童虐待対応のために使用可能な全国共通リスクアセスメントツール整備のため、昨年度作成された全国共通リスクアセスメントツールから死亡事例や致命的行動を予測可能な特に重要な項目の選抜を行うことを目的とした全国調査です。

・評価対象となる事例は、2017年度から調査回答時点までにおける、(児童相談所の場合)可能な限り、「一時保護を積極的に検討したが一時保護しなかった事例」と「一時保護を積極的に検討した結果、一時保護した事例」の両方を入れてください。

(市町村の場合)可能な限り、「児童相談所への送致を積極的に検討したが、事案送致しなかった事例」と「児童相談所への送致を積極的に検討したが、事案送致した事例」の両方を入れてください（進行管理中の事例に該当がなければその限りではありません）。

・警察からの身柄付き通告は、本調査の対象事例から除いてください。
(アセスメントの結果に関わらず、ほぼ一時保護することが多いため)

・一通りの情報収集等を終えている事例、情報にアクセスしやすい事例、直近の事例など、回答しやすい(負担のない)事例を選定して回答してください。

・パート3の設問には、回答者の情報と事例に関する情報を入力する設問があるため、通告から児童虐待の保護判断まで担当された職員様、またはそれを指導・監督されていた職員様等が回答を作成してください。ただし、回答負担を鑑み、全事例を1担当者で回答する必要はありません。担当者が事例ごとに異なる場合は、それぞれの担当者が各事例について回答し、同一回答者ごとにWebフォームにご入力ください。

・1組織あたり最大20事例の回答を募集しますが、20事例に満たなくとも構いません(理由は一切問いません、不利益等もありません)。最大20件の児童虐待事例の内訳は、可能な限り心理的虐待・身体的虐待・ネグレクト・性的虐待を網羅的にご回答頂けると幸いです(回答例：心理的虐待 10事例、身体的虐待 5事例、ネグレクト 4事例、性的虐待 1事例等)。

・パート3の設問に回答するにあたり、新たに事例世帯等への調査を行う必要はありません。前担当者様による過去の古い記録を遡って調べ上げるなどの作業も不要となります。

・現在把握されている、アクセスしやすい情報に基づき、担当者視点から「該当する(と思われる)箇所のみ」にチェック等を行なってください。非該当・不明・未確認事項などについては、未記入のままで構いません。その他、回答が困難な設問なども全て未入力で構いません。

貴組織にて継続対応中にある児童虐待事例についてお尋ねいたします。

- 現在継続対応中にある児童虐待事例について、その事例の基本情報について11項目でお尋ねし、その事例に対してリスクアセスメント40項目で該当の有無をご回答ください。
- 回答者の情報と事例に関する情報を入力する設問があるため、通告から児童虐待の保護判断まで担当された職員様、またはそれを指導・監督されていた職員様等が回答を作成してください。
- なお、本調査に回答するために、新たに事例に対する調査を実施する必要はありません。現在把握されている情報をもとに、ご回答ください(項目の該当/非該当が分からない場合は、“不明”とご回答ください)。
- ・ 回答を飛ばす場合は、適宜、空欄のままお進みください。

回答者(あなた)自身についてお答えください。

※本調査で収集された回答によって、あなたが評価されるもしくは不利益を被ることは一切ありませんのでご安心ください。

- ☐ パート2の模擬事例(B3)の回答者と同じである(該当の場合、累計年数の設問(B3_1)は飛ばしてください)

○ 設問C01_01: あなたはこれまでにどれぐらいの期間、児童虐待現場に携わってきましたか?累計年数をお答えください。

(不明な場合、およその数値でも構いません)

- ◆ 累計年数 年 ☐ 携わっていない

※累計年数について

- ・ (新卒採用の方) 0年とお答えください
- ・ (児童虐待現場に携わっていない) 未回答もしくは携わっていないをお答えください
- ・ (別の部署に在籍した(中抜け)期間がある場合) 児童虐待現場に3年携わったのち、別の部署で2年働き、再び児童虐待現場に戻って5年経過した → 8年とお答えください

事例についてお答えください。

○ 設問C01_02: 【基本設問】最初の相談種別

- ◆ 本事例について、貴組織での最初の相談受理種別を、一つ選択してください。
(被害を受けた児童に複数回・複数種別での受理がある場合は、最も古い種別を選択)

※ 貴組織での受理種別で最も古いもの

- ☐ 養護相談(虐待): 性的虐待または(保護者以外による性虐待としての)ネグレクト
- ☐ 養護相談(虐待): 身体的虐待
- ☐ 養護相談(虐待): 心理的虐待(DV・面前暴力を伴わないもの)
- ☐ 養護相談(虐待): 心理的虐待(DV・面前暴力)
- ☐ 養護相談(虐待): (性被害関連ではない)ネグレクト
- ☐ 非行相談(ぐ犯・触法)
- ☐ 障害相談
- ☐ 虐待以外の養護相談
- ☐ 育成相談
- ☐ 性格行動診断
- ☐ その他

○ 設問C01_03:【基本設問】主たる被害児童の基礎情報

◆ 本事例の主たる被害児童の性別を選択してください

☐ 男 ☐ 女 ☐ その他

◆ 主たる被害児童の、調査回答時点 現在の年齢を回答してください

※ (月数が不明の場合、歳のみでも構いません)

歳 ヶ月

◆ 一時保護 (市町村は児相送致)の要否の判断をした時点、もしくは最も悪い状況と感じていた時点 (特に注意書きがない場合は、以降の設問においても同じ)における児童年齢について記入してください。

※ (月数が不明の場合、歳のみでも構いません)

歳 ヶ月

○ 設問C01_04:【基本設問】随伴する問題

◆ 主たる被害児童に随伴する問題について、当てはまるもの全て選択してください

☐ 身体的虐待	☐ 性格・行動	☐ 障害(視聴覚)
☐ ネグレクト	☐ 育成(不登校)	☐ 障害(重心)
☐ 心理的虐待	☐ 育成(その他)	☐ 障害(発達障害)
☐ 性的虐待	☐ 非行	☐ 障害(自閉)
☐ DV・面前暴力	☐ 障害(知的)	☐ 障害(その他)
☐ 養育困難	☐ 障害(身体)	

○ 設問C01_05:【基本設問】児童関係者の基礎情報

◆ 本事例における主たる養育者の年齢を記入してください

男性: 歳 女性: 歳 その他: 歳

◆ 本事例における主たる虐待者種別を選択してください

☐ 実母 ☐ 実父 ☐ 実母以外の母 ☐ 実父以外の父 ☐ その他

○ 設問C01_06:【基本設問】家族構成

◆ 本事例における家族構成について、以下の該当する欄にチェックをしてください。

- ・世帯内に居住や関与が全くない場合、離婚等でいない場合はその箇所のチェック不要
- ・「居住」は住民登録等の有無にかかわらず、実際に被害発生家庭で生活がなされていれば該当とする
- ・「兄は2名いるが、そのうち1名のみ該当」などの場合は、「該当」でチェック

続柄	居住情報 (続柄ごとに一つ選択。 いない/関与がない場合 はチェック不要)	続柄	居住情報 (続柄ごとに一つ選択。 いない/関与がない場合 はチェック不要)
実父	☐ 居住	兄	☐ 居住
実母	☐ 居住	兄(異母)	☐ 居住
実父以外の父	☐ 居住	姉	☐ 居住
実母以外の母	☐ 居住	姉(異母)	☐ 居住
おじ	☐ 居住	弟	☐ 居住
おば	☐ 居住	弟(異母)	☐ 居住
祖父	☐ 居住	妹	☐ 居住
祖母	☐ 居住	妹(異母)	☐ 居住
内縁男性 (過去を含む)	☐ 居住	その他	☐ 居住
内縁女性 (過去を含む)	☐ 居住		

○ 設問C01_07: 本事例における通告元（相談経路）について、調査回答時点の現在までに把握している情報に基づき回答してください。

※該当するものを一つ選択

- ☐ 児童本人
- ☐ 児童相談所（都道府県・指定都市・中核市）
- ☐ 福祉事務所（都道府県・指定都市・中核市）
- ☐ 保健センター（都道府県・指定都市・中核市）
- ☐ 福祉事務所（市町村）
- ☐ 児童委員（市町村）
- ☐ 保健センター（市町村）
- ☐ 保育所（児童福祉施設・指定発達支援医療機関）
- ☐ 児童福祉施設（児童福祉施設・指定発達支援医療機関）
- ☐ 指定発達支援医療機関（児童福祉施設・指定発達支援医療機関）
- ☐ 児童家庭支援センター
- ☐ 認定こども園
- ☐ 保健所及び医療機関
- ☐ 学校等機関関係者
- ☐ 里親
- ☐ 児童委員（通告の仲介を含む）
- ☐ 家族・親戚
- ☐ 近隣・知人
- ☐ その他

○ 設問C01_08: 本事例に対する一時保護の判断についてお答えください

※該当するものを一つ選択

児相回答者は（児童相談所の回答）、市町村回答者は（市町村の回答）からお選びください。

- ☐ （児童相談所の回答）一時保護が必要と判断し、一時保護を行った
- ☐ （児童相談所の回答）一時保護が必要と判断し、一時保護を試みたが一時保護に至らなかった
- ☐ （児童相談所の回答）一時保護は不要と判断した
- ☐ （市町村の回答）一時保護が必要と判断し、児相送致を行い、児童相談所も一時保護が必要と判断し、実際に一時保護に至った
- ☐ （市町村の回答）一時保護が必要と判断し、児相送致を行い、児童相談所も一時保護が必要と判断したが、一時保護には至らなかった
- ☐ （市町村の回答）一時保護が必要と判断し、児相送致を行ったが、児童相談所は一時保護が不要と判断した
- ☐ （市町村の回答）一時保護が不要と判断し、児相送致を行わなかったが、児童相談所は一時保護が必要と判断した

○ 設問C01_09: 本事例に対して緊急出動（直ちに行う安全確認）は行われましたか？

※該当するものを一つ選択

- ☐ 実施した ☐ 実施していない ☐ 非該当

○ 設問C01_10: 本事例において収集したその他の基礎情報 について、あてはまるものすべてを選択してください（複数回答可）

- ☐ 過去の係属歴 ☐ DV 面前暴力 ☐ 特定妊婦